

(別紙)

提出書類の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 (変更)				
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	宮崎県宮崎市清武町今泉丙1860				
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	宮崎エプソン株式会社代表取締役社長 佐藤 竜二				
主たる業種	28電子部品・デバイス・電子回路製造業				
事業概要	人工水晶製造・水晶部品製造				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者				
計画期間	2 年度 ~ 2 年度				
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績①	前年度の実績	目標年度②	増減率
		1 年度	年度	2 年度	$(②-①)/① \times 100$
	総排出量	6,058 t-CO2	t-CO2	6,115 t-CO2	0.9 %
	原単位の排出量	2.36		2.09	-11.6 %
原単位の考え方	総排出量を総生産数でわり、百万個あたりの排出量を算出。				
目標達成のための基本方針	省エネ設備へのシフトと、歩留まり改善、効率改善により、原単位での電気使用量削減に取り組む。				
目標達成のための推進体制	全職場にて構成される省エネルギー推進体制 (推進責任者：部門長クラス、構成員にエネルギー管理者含む) を基軸とした環境マネジメントの仕組みを活用して、活動を展開している。				
目標達成のための措置の内容	<ul style="list-style-type: none"> エプソン環境活動で温室効果ガス削減に向け SBT (Science Based Target) 目標を展開しており、2025年までに老朽化したコンプレッサーを高効率インバーター機へ更新する。 (環境活動URL: https://www.epson.jp/SR/environment/midterm_vision/) 生産ラインの省エネ (歩留まり改善、効率改善、空調温度管理) エプソン全社エネルギー削減施策の水平展開 				
特記事項	CO2の総排出量は約0.9%増だが、原単位の排出量は11.6%減。Chip生産計画数増加の影響により、電力単位当たりの効率が上がり、原単位の排出量が削減する見込み。				